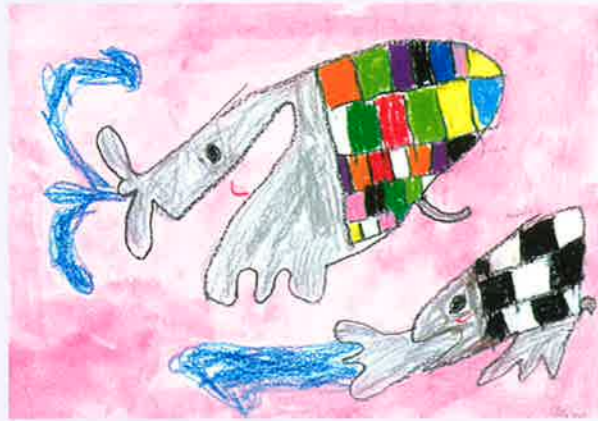


2010

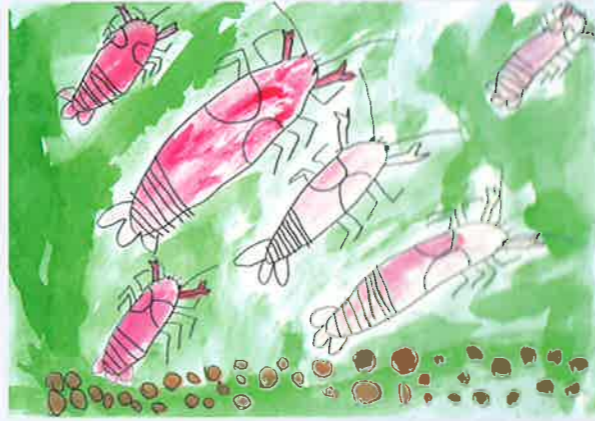
ひなどり

No.230

家族の応援団



「エルマーとおともだち」
なの花保育園 5歳児 大越 響



「ザリガニ」
上五十嵐保育園 4歳児 周 雪音



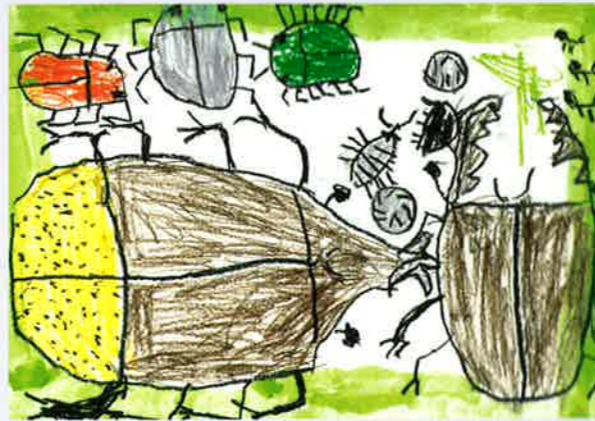
「わたしたちのザリガニ」
間瀬保育園 5歳児 田中 蓮



「西海岸プールで泳いだよ」
しなの保育園 5歳児 武田 朋大



「なわとび あんだよ! なわとび とべたよ!」
東明保育園 5歳児 とえだ かのん



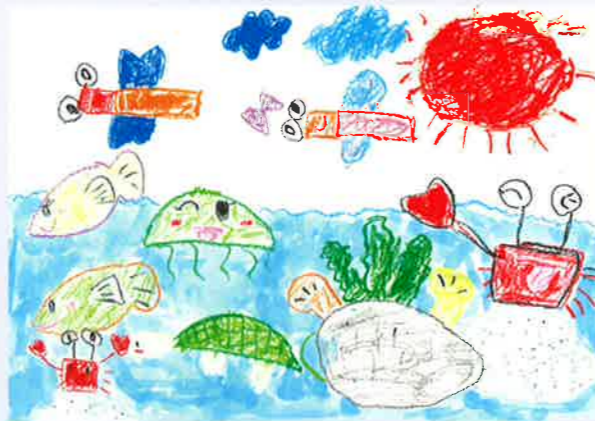
「大好きな虫いっぱい」
みたけ保育園 4歳児 青木 仁志



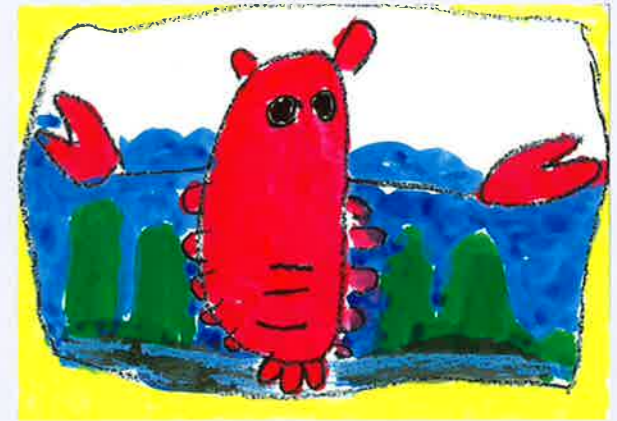
「虫捕りにきたよ」
若草保育園 5歳児 長谷川 暢洋



「にんぎょのくに」
みつばち第二保育園 5歳児 ひらこし はるか



「海のパーティー」
第二曾野木保育園 5歳児 相田 珠那



「おとうさんザリガニ」
かきの実保育園 5歳児 渋谷 唯斗



「お母さんと虫とりに」
阿賀野保育園 5歳児 内山 喜貴



「うみのおまつり」
中道山保育園 5歳児 高橋 昂輝

2010
No.230

発行日 平成二十二年十一月
発行所 新潟市保育会
編集者 阿部 由美子
印刷所 (有) 双葉印刷部

編集後記

一三〇号はテーマを「家族の応援団」としました。初めての作業に四苦八苦しながら作りました。プロのようなものは出来ませんがどうぞ手にとってご覧ください。

*案するより、産むが易かったです。
木場保育園 眞島

*ひなどりを読み、心温め一層元氣になつてくれる事を願っています。
松葉保育園 中村

*編集に携わり、楽しさ半分、大変さ半分でした。責任を感じます。
曾野木保育園 渡部

*みなさんがひなどりを読んで笑顔になつてくれたらうれしいです。
はす池保育園 小山

*多くの方々のご協力の賜物です。見て、楽しんで活用してください。
しなの保育園 片田

*多くの方々に感謝の心でいっぱいです。ありがとうございます。
物見山はじめ保育園 三國

*編集作業は大変でしたが、すばらしい「ひなどり」になつてよかったです。ありがとうございます。
小合西保育園 荒木

*市保育会会員皆様の原稿で作られている「ひなどり」です。お忙しい中、原稿をお寄せいただいたことが出来ました。本当にありがとうございます。部員一同本当に感謝申し上げます。
木崎保育園 阿部

ひなどりの歩み〜歴史と背景〜

新潟市保育会 会長 手島 恵 雄



昭和二十三年一月、県内の公・私立保育園関係者の間で、保育事業の発展と振興を目的とした、「新潟県保育連盟」なる組織が結成されました。

その傘下を形成する県下四地区（上越・中越・下越・佐渡）に支部を置き、それぞれの地区保育研究会として始動、各市町村行政との密接な関係を保持しつつ、事業推進に取り組んでこられました。

翌二十四年、旧新潟市内のメンバー有志によって、独自の活動展開を望む機運が高まり、今日の「新潟市保育会」としての産声を上げるに至りました。

現在では上越・中越・県央・新潟・県北・佐渡地区と、県内において六地区の各保育事業研究会として発展し、年一回の県保育事業研究大会を各地区巡回当番制（除佐渡）を採り、会員が一堂に会して研修・研鑽に努めていることは御案内のところでありませう。さて、当初の保育会が活動する中で、年々

施設及び会員数の増加と併せ、保護者と共に「保育」について語り合う機関誌の発行が検討されました。

昭和三十年一月、ここに今日の「ひなどり」創刊号が誕生し、爾来半世紀以上に及ぶ同誌の刊行を継続してきたことは、敬服の念を抱かざるを得ないところでもあります。今では、



政令市を契機として会員施設数も大きく増やし発行部数を延ばす一方、その変遷に目を向けてみると、サイズ・カラー仕上げをはじめとして編集内容の面からも随分多様化されてきていることに気付かれます。その時々携わった部員各位のアイデアや繊細さ、世情を反映した「保育」への論議を掲載する等、一つ一つの足跡が往時を偲ぶ貴重な資料として保存されております。

小生も昭和五十年後半、同部に属し二年二回の刊行に向け、編集に携わってまいりました。数々の先輩女性園長諸氏の中にあつて、委縮しつつも和気あいあいの時を過ごさせていただきました。

二年間の想い出の中には、今でも部員相互が享受した「隠しエピソード」が脳裏にしっかりと刻み込まれており、それぞれが歳月の流れを心に汲み取っておられることと感じております。

活字離れの風潮と共に、インターネット等による豊富な情報源は「ひなどり誌」のこれからの舵取りにも多少の影響を及ぼすことが懸念される昨今であります。

初心に立ち返り、内容の新鮮さや読者ニーズへの模索に心掛けていくことが、脈々と今日に伝え繋ぐ「保育の心」でもあり、私共の責任の重さではないかと感ずる次第です。



いろは保育園

本年度より、東区竹尾に開園致しました。園舎が建った場所は、数十年前に亘りずっとお花畑でした。これからは、子供達をお花のように優しく見守りながら大切に、育てていこうと思っております。

「優しいこと」と「強いこと」と言う園の方針があります。自分が大好き、お友達が大好き、そして心も体も元気な子を目標に、みんなが頑張っています。地域からも見守られて、子供達も保護者も

職員も

楽しく過ごしておりますので、皆様もどうぞいつでも遊びに来て下さい。



美二第 松の保育園

西区五十嵐東にある松の美二保育園は今年四月から開園されました。

広い園庭では大型遊具がありプール・雪遊びなど季節に添った遊びができます。全クラス床暖房が完備され、保育室からテラスにできることができ、のびのびと過ごせます。遊戯室はステージが稼働式なので広々使うことができます。また、子育て支援セ

ンター愛らんどが併設され、毎日多くの親子が利用されています。

これからも地域の皆様にお役に立てる園づくりをしていきたくと思っております。どうぞよろしくお願致します。



新加入 保育園 紹介

ノートルダム幼稚園に併設されている乳幼一貫の保育園です。

県内に姉妹園が十七あり、カトリック教会が設立した学校法人聖母学園が母体です。「ノートルダム」とはフランス語で「私たちの貴婦人」という意味で、キリストの母を意味しています。

若い命を尊み、慈しむ母マリアにならい、お子様一人ひとりに愛情を

注ぎ大切に育てます。

子どもの気持ちに添った優しい関わり方。なごやかな子ども達との集いの中で人への信頼と優しさを育み、未来を切り拓く人間の基盤を育てます。



牡丹山 ひかり 保育園

東区の「牡丹山ひかり保育園」です。私達は子供が子供らしくのびのびと育ってくれることを何よりも願って日々の保育を行っています。まず何でもたべの子。丈夫な体作りの基礎になります。その体を使って思いっきり外で元気に遊べる子。砂や泥んこ、小さな虫や花、五感をフルに使ってたくさん触って感じて欲しいです。異年齢の交流も大切だと思います。お互いに譲り合う事や小さい子に優しくする等、たくさんルールを身に付ける機会だと思

います。認可外としては三十七年という長い実績はありますが、認可保育園としては四月にオープンしたばかりで園舎も職員もピカピカです！恵まれた環境でかわいい園児さんを大切にし、保護者の皆さんや地域の皆さんとのいい関係作りに末永く努めていきたいと思っております。



ノートルダム 保育園

幼い命を尊み、慈しむ母マリアにならい、お子様一人ひとりに愛情を

わたしのねがい

エッセイスト 藤田市男



これまで子ども
の話を中心にした
エッセイが多かつ
たからでしょう
か、講演会などで
「子育てエッセイ

スト」として紹介していただくことがありま
す。

でも、そのたびに申しわけなく思います。
わたしのようなシロウトが、子育てについて
語ったり書いたりしていいものかどうか。娘
と息子、たった二人の子のことしか知らない
わたしが、人さまに子育てなどを語る資格は
あるのだろうかと自問するのです。その答え
はまだ出ていません。そういうわけで、とり
あえずこれから先はわたしの独り言と思って
読んでいただければ幸いです。

いまから二十四年前、予定日の二週間前に

その当時、息子とは朝から晩までいつも一
緒でした。オムツもミルクもお風呂も散歩も
わたしはみんなやりました。息子が成長し保
育園に行くようになってからは、その送り迎
えがわたしの役目でした。わたし自身はおか
あさんがたの中に混じることがちょっと恥ず
かしく思っていたのですが、息子はとても喜
んでくれました。わたしのこぶ自転車、よ
そのおかあさんがたよりもずっと速かったか
らですね。行きも帰りもおかあさんがたの自
転車をゴボウ抜き。息子は「お父さんの自転
車は速いんだぞー」って、前のカゴに乗っ
て得意がって叫んでいました。

息子も娘も同様、かわいくてかわいくて
しょうがない存在でした。この子の苦しみ悲
しみ、この先に予定されている不幸があると
したら、みんなわたしが引き受けたいと思っ
ていました。

あのころに戻りたいと思うことがありま
す。戻って、もういちどやり直したい場面が
いくつもあります。あんなふうに怒らなけれ
ばよかった。あんなふうに泣かさなければよ
かったと、後悔でいっぱいです。

重度の妊娠中毒症になった妻は、命がけで娘
を生みました。娘も命がけで生まれました。

「よかったよかった」と娘の手をとりウル
ウルしていたときに、「どんなお子さんになっ
てもらいたいの？」と、年長の助産師さんが
ニコリ笑顔で話しかけてくれました。

生まれたばかりの娘は、まだとても頼りな
い命でした。華奢な首、細い腕、ちいさな手。
すべてを親に委ね、まだ一人では生きていけ
ないその命。

助産師さんの問いに、わたしはただ「幸せ
になってもらいたい」という言葉しか浮かび
ませんでした。

「この子をずっと守ってほしい。この子の
この先に予定されている苦しみや悲しみがあ
るのならば、どうかわたしに全部ください」と、
と、神さまに祈りました。

いま娘はお年頃です。いつお嫁に行くかわ

お父さんは世界でいちばん強い。お父さん
は世界でいちばんモノ知り。お父さんは世界
でいちばんいい人なんだって信じていた子ど
もたち。でも、実際はそんな立派なお父さん
じゃありません。ロクデナシです。

生まれたときは、「生きていれほしい、そ
れだけでいい」と、そう思っていたはずなの
に……。

子どもたちが成長するにつれ、いつのまに
か「オマエのためだ」と言いながら、親のわ
たしの欲のために子どもを叱り、わたしのミ
エのための子育てをしていることがありまし
た。わたしは「世間」に自慢するための子ども
を育てたいと思っていたのです。

そんなわたしに叱られて、泣きながら眠っ
たその顔に、涙のあとがくっきりと残ってい
ました。その涙のあとを拭きながら、わたし
はなんと愚かな親だろうと思いました。

そんな愚かな父であっても、子どもたちは
目を覚ますと、わたしのそばにきてくれまし
た。

わたしが「ごめん」と謝ると、「平気だ
よー」と言っていてわたしのほっぺを指で突きな

かりません。娘がお嫁に行くときは、「オレ
はその日力ゼをひいて結婚式を休んじゅうか
らね」と妻に言ってます。妻は「またバカな
ことを」と笑っていますが、わたしは本気で
す。最初から最後まで泣きっぱなしの姿を見
られたら恥ずかしいですから。

さて、娘のことを書いたら息子のことも書
いておかないといけませんね。「フジタさん
は娘さんのことばかり書いているけれど、息
子さんはどうなっているのですか」と言われ
ることがありますので。最初に出したエッセ
イ集「父はなくとも」の中には息子の話をいっ
ぱい書いていたのですが、最近は無沙汰か
もしれません。

娘が生まれた四年後に息子が生まれまし
た。

その息子が一歳のときに、わたしは「うつ
病」になって勤め人を辞めました。

「エッセイストになるため仕事を辞めたフ
ジタさん」と紹介されることがありますが、
実際のところは、「心を病んで勤め人を挫折
したフジタさん」が正解です。自慢にもなり
ませんから、大きな声では言いませんが。

がら許してくれる子どもたち。わたしはその
つど子どもたちに許してもらって親を続けて
きたのです。

いま、わたしの願いははっきりしています。
「子どもたちが幸せでありますように。こ
の世に生まれてきたことを喜べますように」。
そのほかのよいことは、みんなオマケなん
だと思います。





寄居保育園

レストランでごっこをしている時。保育者が「お待たせしました」と食べ物をおく……。S君も一緒に「おまたせまし〜」保「エッ？」S「お・ま・た・な・せ・まし〜」一生懸命、「お待たせしました〜」と接客してくれました。その顔は満面の笑みでした……!!



二歳児

太夫浜保育園

遠足に行った時保育士「みんな、ボールのプールに行くよ」と声をかけたら三歳男「どうしよう!!水着持ってきてないよ」と困った顔。保育士「ボールのプールだから水着はいらないよ」と言うと三歳男「あっ!そっか」とひと安心の表情でした。



おやまつ保育園

インタビュール給食中に独り言? 「お名前は? ネギです! 三歳です! パチパチ……(拍手)」一人二役ネギとお話してました。



亀田第二保育園

夏のある日「先生、カニにさされた」と、腕を見せてくれた一歳児の女の子。「本当だ! カニにさされたんだね」と、応える保育者。



まあ、夏はカニも力もいますからねえ! 一歳児女の子

白山保育園

園庭で遊んでいると、泣いているお友だちを発見。保育士がなぐさめている様子を隣でじっとみていたKくん。涙と鼻水がたれたお友だちにK「はい、これ」と、半分にちぎったティッシュを差し出してくれました。お気に入りのティッシュ、最後の一枚だったんだね。もらったお友だちは、「ニコニコ」の笑顔が戻りました。

五歳児

松崎保育園

クラスに双子がいることを、新しい保育士に伝える女兒(3歳児)「先生、あやとくとまなとくん似てるんだよ。どっちがホンモノだと思っつ」



新潟保育園

ある日のこと Kちゃん「せんせい! わたしのポイントカードがないっ! さがして〜」保育士「えっ? ポイントカード……?」……つたや……「ダメ……?」 Kちゃん「あっ! あったあった! そう、それは、プールカードだったのでした。プールに入れてよかったね。」

四歳児

月鴻保育園

初・ねんど。二歳児クラスで、ねんどを見せながら(我園はメイト社製のしるくまねんどを使用)保「これはなにかな?」子「とつぷ!」と自信たっぷりの答え。(そっだね。とつぷにみるもんね)



旭保育園

十五夜の日におやつに年長さんが白玉粉を丸めてお団子を作り、しょうゆ団子にして食べました。年少さんのクラスで……保「今日は、宙組のお兄さん、お姉さんがお団子を作ってくれました。」 Aちゃん「わ〜い、おいしそ〜」 Bちゃん「じょうずだね」 Cちゃん「どこで作ったの? あっ分かったお庭の砂場でしょ!」保「えっ……」砂遊びが大好きな女の子の一言でした。

あじほ保育園

保「いっぱい雨が降って、園庭に行けなくて、残念だね〜」子「先生、てるてる坊主の中に、アメ」を入れると晴れるんだよ」保「……」



栄保育園

遠足の時、池を発見した園児たち。A君「池だよ。中には何かいるのかなあ。」 B君「鯉だよ。鯉。」 A君「鯉って魚だよね。」 Cちゃん「ちがうよ。ハートだよ。」 A君・B君「……」



みその保育園

A子「このクッキー、ワインが入ってるみたい」 B男「僕のパパもワイン食べるよ」 A子「ワイン食べるの?」 B男「うん、食べるよ」 C子「ええ? ワインで飲み物でしよう」 B男「食べ物だよ」 C子「だって、テレビで男の人が飲んでたもん」 B男「そんなこと僕、前から分かってるよ」

五歳児

亀田第五保育園

かにさされたの〜夏の楽しいお出かけのあと〜 虫刺されの跡を指さして「かに〜かに〜」と、二つの指をチヨキチヨキして一生懸命に教えてくれました。「蚊に刺されたの?」と聞くと「うん、かに……」とかにさんポーズでしょんぼり顔……



可愛くて、可愛くて、思わず、笑みがこぼれました。一歳男児

和納第二保育園

アンパンマンの曲に合わせ、元気に踊っていると、A君「♪アンパンマンはきりんさ〜ん♪」と自信満々の大きな声ノそして、満面の笑み! 保育士「アンパンマンはきみさ〜♪がきりんさんになっちゃったね〜」と大笑い。



一歳児 男児